

農業に新提言！ティーンエイジャーの挑戦 大阪府立農芸云高等学校

校長 真鍋政明 生徒数 6000人
所在地 〒597-0051 大阪府堺市美原区北余部595-1
お問い合わせ TEL072(361)0581
URL <http://osaka-nougei.ed.jp/>

記憶に残る大会を！ 記念すべき年への一歩



生徒の自主性を大切に地域企業とのコラボも多数

のコラボなど、地域の企業や店舗との取組みが多数実現している。そんな同校が10月、今年最大の山場を迎える。第67回日本学校農業クラブ全国大会の幹事校に選ばれたのだ。

いよいよ全国大会 学内外でPR活動を展開中

「生徒たちの全国大会なので、自分たちで作り上げたいです」と語るのはハイテク農芸科3年生の沖野知夏さん。大会の生徒実行委員長を務める沖野さんは、沖縄県や群馬県で行われた過去の大会が強く印象に残っているそうだ。「幹事校の身だしなみやあいさつがすごかった。大阪も負けていけないです」と言う。掲げたモットーは「大阪で記憶に残る大会を」。その言葉を実現させるべく、学内外でPRを展開中だ。朝のあいさつ運動や全校集会でのPR、大会用FacebookやTwitterの運営、ポスター制作など、全校生徒を大会の当事者として巻き

生徒たち自身で 生産から販売まで取り組む

泉北タカシマヤ前の広場に販売開始の鐘と共にお客さんが列を作った。元気に接客をこなすのは、大阪府立農芸高等学校の生徒たちだ。同高では学内の農産物を生徒たち自身の手で販売する機会を設けている。この日は雨にも関わらず、昼頃に完売となった。

大阪府立農芸高等学校は府下に2校ある農業高校のうちのひとつ。9万平方メートルの広い敷地に畑や果樹園、牛舎などが広がり、ハイテク農芸科、食品加工科、資源動物科という3つの科でおよそ600人が学ぶ。栽培実習だけでなく、百貨店での農産物販売やふれあい動物園など活動は多彩で、学外へ出る機会も多い。この日新発売の農芸ポークカ

レーも学外活動の中で生まれた商品だ。百貨店で農産物を販売する生徒たちに企業が声をかけ、同校が持つブランド豚、農芸ポークを用いたレトルトカレーが完成した。野菜も学内産のものを使用し、大阪府の特産品として「大阪産（もん）」の認定を受けている。その他にも農芸ポークを使った丸亀製麺（堺美原店）とのコラボ、有機野菜を使った近隣ピザ店と

込む努力を続ける。沖野さん自身も進路を決める時期であり、大会との両立に悩むこともあるというが、「大会が成功した時、自分がどういう感情になるのか楽しみ。青春ですから」と前向きだ。

大会広報を担う鳥谷直宏先生は「幹事校になる機会はめったにない。生徒たちは若い分勢いもあり、大会を盛り上げたいという思いをどんどん実行に移している。教員はそれをサポートする立場です」と語る。全国の農業高校だけでなく、地域の人々や企業にまで届く大会になりそうだ。

ビッグイベントを乗り越え 迎える創業100周年

全国大会が終わればすぐに冬。今年度で卒業の沖野さんに進路の予定を尋ねると、「まずは大学の農学部を目指します。今興味が



真鍋政明校長



全国大会の生徒実行委員会5校の代表者たち



「将来は農業分野で活躍したい」という沖野知夏さん(右)



販売会は全国大会PRの絶好の場となった



販売活動から生まれた農芸ポークカレー



校内には士気を高めるための力作パネルが並ぶ

あるのは施設栽培」と言う。

来年には創立100周年を迎える。記念すべき年に向けて、同校ではさまざまな企画が進行中だ。正門前にはアルパカやヤギが駆けまわる運動場ができる予定。「魅せる農業を意識して、幅広く高度なプロジェクトができるのがうちの強み。都市部ならではの農業高校です」と鳥谷先生。さらに地域と強く結びついた高校になるのが楽しみだ。

アクセス



▼南海高野線「初芝」駅よりバスで「農芸云高校前」下車徒歩約2分
▼阪和自動車道美原南インターチェンジより約5分